



## LNG 産消会議 2020 に寄せて

<ビデオメッセージ>

テック・ムハマド・タウフィック

ペトロナス社長兼グループ CEO

将来の LNG マーケットに対する期待

皆さまこんにちは。

ペトロナス社長兼グループ CEO テンク・ムハマド・タウフィックです。どうぞよろしくお願い致します。

この LNG 産消会議 2020 におきまして、ペトロナスがビデオメッセージを差し上げる機会を頂き、経済産業省様に御礼を申し上げます。将来の LNG マーケットのために、我々は LNG の産出国と消費国がさらに協力する機会があると信じております。

我々の産業は長く景気の影響を受けてきましたが、今日ほど不確かで複雑な状況になったことはありません。我々はコロナ禍によって引き起こされた需要の破壊と供給過剰による石油価格の下落によって、前例のない状況に直面しています。

ここ数ヶ月、バリューチェーンの至る所でその影響が見られました。世界的な上流開発の抑制、ガス需要の減少、精製マージンの低下や景気低迷による石油化学製品価格への圧力などです。

しかしながら一つだけ確かなことがあります。それは、世界は安定的なエネルギー供給を必要としているということです。産出国と消費国として、我々はエネルギーについて Affordability、供給の保障、持続性のバランスをとる必要があります。これは収益の減少とオペレーション上の困難に直面しているエネルギー会社にとっては大きな挑戦となります。

私はこのパンデミックと石油価格の下落は我々にエネルギー市場における転換の機会を与えてくれたと信じています。我々ペトロナスでは、この期間をグレートリセットと呼んでいます。この2つのショックはエネルギー移行、伝統的なサプライチェーンモデルの再検討、そして世界中の政府による環境負荷の低い経済回復計画を促進しました。

将来の低炭素社会への道のりは様々あります。科学は気候変動を防ぐ為には排出を制限しなくてはならないと言う一方で、どの道を選ぶべきか、その道が1つであるとも教えてはくれません。

この会議に出席されている皆さま全員が、LNG が重要な役割を果たすということに同意頂けると信じております。ガスと LNG はエネルギー Affordability、供給の保障そして持続性という点において世界の期待に応えられるものとして位置づけられます。



国際エネルギー機関による持続可能な開発シナリオにしたがうと、ガスは 2040 年時点でエネルギーミックスの四分の一を占めます。ガスは引き続き成長が見込まれ、2040 年時点で 900BCM を超える消費市場に向かっていると考えています。

より安価なガスおよび LNG はエネルギー転換において多くの人々の選択肢であり、需要はアジアの新興市場諸国によって喚起されると考えます。

ガスおよび LNG の潜在能力が引き続き勇気を与えてくれる一方で、それを当然と思わないよう注意する必要があります。生産者、消費者そして政府として、我々が作り上げるエコシステムが全てのステークホルダーの利益となるよう努める責任があり、協力が鍵となります。

将来の LNG マーケットのために私の考える協力が重要となる点は、まず初めに、より流動性と柔軟性の高い需要主導のマーケットです。これは契約形態にさらに革新をもたらし、ダイナミックな生産者と消費者の関係を形作ります。

二つ目は Affordability です。これは大規模な石炭からガスへの転換を支え、新たな需要を生み出します。しかしながらマーケットは運営の柔軟性やインフラの準備性、そして政策立案者の支持によるという点でそれぞれの特色があります。よって LNG をより利用可能に、そして入手しやすくするためには、それぞれの目的にあった解決策のためにステークホルダーの協力が必要となります。

三つ目は、予測されている供給過剰です。業界は今、もしも LNG 価格が今日同様のままであった場合停滞する可能性に直面しています。堅実なタイムフレームでの投資無くしてはビジネスを継続することは出来ず、長期的な安定供給に影響を及ぼします。

最後に、長期的な需要と供給の透明性が重要となります。我々全員が理解している通り、LNG プロジェクトは多くの資本と長期の形成期間を必要とするため、需要の確保が非常に重要となります。

我々ペトロナスはガスと LNG の利用を提唱し続けなければならないと考えます。それがエネルギー転換を支え推進する低炭素アジェンダのために不可欠だからです。

歴史ある LNG プレーヤーとしてペトロナスは次世代のための低炭素社会実現に向けて力を発揮する準備があります。

### LNG は日本とマレーシアの架け橋です。

1983 年より、ペトロナスは日本経済を支える機会を得てきました。今日までに 11,000 隻を超えるカーゴを世界の市場に安全に持ち届けました。そしてその内 7,720 隻のカーゴが日本



全国の 30 のターミナルへ届けられ、それ以外は韓国や台湾そしてその他の市場に届けられました。

LNG プレーヤーとして、ペトロナスは常に柔軟な解決策を開発し、顧客に提供してきました。我々は顧客第一の解決策を提供するためにさらにオペレーション上の柔軟性を高めています。例えば LNG ISO タンク、海上輸送の為に LNG バンカリングや小口での輸送などです。

また我々は既存の新エネルギーポートフォリオを強化するための行動も慎重に進めています。世界的な LNG ポートフォリオを補完するための新しい収益の柱、具体的には太陽光、風力そして最近では水素、を作り出す為に注力しています。

エネルギー転換において、我々は技術とデジタル革新を差別化要因として位置づけています。我々は持続可能な技術プログラムによって着実に脱炭素アジェンダに向かっており、個人的にもこの展望に非常に興奮しています。日本とともに我々が共有する温室効果ガスの低減という目標によって、国と産業にさらに大きな価値をもたらすと信じています。

マーケットは引き続きチャレンジングで非常に不透明であると考えられます。しかしながらこの状況は生産者と消費者に従来とは異なるアプローチをとることを求めることとなり、LNG 産業全体としてより深く有意義な協力が出来ることを確信しています。

我々の社是である「持続可能な未来にむけて、より豊かな生活を実現する革新的なエネルギー及びソリューションパートナー」に基づき、ペトロナスはこれからも日本のエネルギー需要に応え続けます。

改めまして経済産業省様、この会議を開催頂きまして感謝申し上げます。  
最後になりましたが、LNG 産消会議のご盛会をお祈り致します。

有り難うございました。

